

## 平成 25 年度第 1 回(通算 9 回)都道府県地域がん診療連携拠点病院および東京都認定がん診療病院研修会(放射線技師等)の報告

がん研究会有明病院 放射線治療部 佐藤智春

- 開催日時：平成 25 年 8 月 3 日（土） 9:50～16:40
- 開催場所：がん研究会研究所 1 階 吉田講堂
- テーマ：「IMRT の実臨床 –放射線腫瘍学の基礎から最先端の IMRT まで–」
- 目的：代表的な IMRT の照射部位である前立腺と頭頸部について、放射線治療技術に必要な放射線腫瘍学に始まり最先端の照射技術である IMRT に至るまでの臨床的な講義を聴講することで、これらの部位における IMRT の必要性を理解する
- 参加者： 37 施設 146 名（拠点病院以外の 4 施設 15 名を含む）
- プログラム：
  - 9:50～10:00 開会の挨拶
  - 10:00～11:30 「基礎講座」 外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法  
–標準計測法 12 の概要と変更点–  
首都大学東京大学院 齋藤 秀敏
  - 11:40～12:30 「ランチョンセミナー」 サイバーナイフによる最新の放射線治療  
日本アキュレイ株式会社 水谷 秀樹
  - 13:20～14:50 前立腺の放射線腫瘍学から IMRT の実臨床  
独立行政法人国立病院機構東京医療センター 萬 篤憲
  - 15:00～16:30 頭頸部の放射線腫瘍学から IMRT の実臨床  
公益財団法人がん研究会有明病院 利安 隆史
  - 16:30～16:40 閉会の挨拶
- アンケートの結果：回収率 86%（126 人／146 人）
  1. 放射線技師の経験年数は 10 年以上 63%、10 年未満 37%となり、前回（各々 58%と 42%）前々回（各々 51%と 49%）と比べて中堅層以上の参加者が増加している。また 5 年未満の新人は 20%となり、前回(20%)と同様であった。
  2. 放射線治療の経験年数は、3 年未満の初心者が 35%、3～10 年の中堅が 40%、10 年以上のベテランは 25%であり、前回（各々 34%、42%、24%）と比べて著しい変化はなかった。なお、治療経験 5 年以上の受講生が 53%を占め、前回（54%）とほぼ同様であったが、初回から前々回まで(45～48%)と比べると増加している。また、経験年数 3 年未満の初心者の割合を比べても、本研修会の開催を始めた 5

年前は半数近く（45%）であったのが今回は約3分の1（35%）に減少しており、放射線治療の高度化と安全面の点から、放射線治療業務を継続して行う技師の必要性が、がん拠点病院において認識されてきた事の表れであると思われる。

3. 放射線治療関係の学会入会率は、日本放射線腫瘍学会 48%、日本放射線技術学会治療分科会 52%となり、前回（腫瘍学会 46%、分科会 56%）とほぼ同様であった。
4. 放射線治療関連の認定取得状況については、放射線治療品質管理士 28%、放射線治療専門技師 29%、医学物理士 13%となり、去年の結果（各々26%、26%、14%）と比べると放射線治療品質管理士と放射線治療専門技師の取得者が若干増加した。未取得者のうち取得希望者を含めると、放射線治療品質管理士 67%、放射線治療専門技師 74%、医学物理士 44%となり、この結果から、放射線治療専門技師を目標または対象にした講習会を行う事が、放射線治療技術の効率的なスキルアップに繋がると考えられる。
5. 各講義内容について、ほとんどの受講生がよく理解できた、または概ね理解できたと答えており（講義順に 97%、99%、100%、99%）、本研修会の目的は達成できたと考える。特に、放射線腫瘍学について我々放射線技師や医学物理士の事をよく理解している放射線腫瘍医の先生方に講義していただいたことが、「受講生の意見と要望 4) 5)」にもあるように好評であった。

➤ 受講生の意見と要望（28件）

次年度以降に希望するテーマを募集した

- 1) 設備面に関する苦情（マイクのノイズ、照明の明るさ）（2件）
- 2) 講師の音声データがほしい（参加できなかった人へ聞かせるため）
- 3) 90分の講義時間は長い（3件）、60分がよい（うち1件）
- 4) 頭頸部 IMRT の講義が大変勉強になった、わかりやすかった（4件）
- 5) 臨床的な講義が良かった、他部位の実臨床の講義もお願いしたい（3件）
- 6) 実機を用いた、または演習形式の研修会（2件）
- 7) QA/QC（MLC などを含む）基礎的な内容をもう一度（3件）
- 8) QA/QC に関する各施設における取り組み方（3件）
- 9) QA/QC ツールの特徴と実際の使用方法
- 10) 治療におけるプロトコルの施設間での比較や考え方（3件）
- 11) 脳 SRT や肺 SBRT（動態追尾を含む）について（4件）
- 12) 粒子線治療について（2件）
- 13) 呼吸同期照射（2件）

- 14) 治療情報管理システム RIS について
- 15) 放射線治療における医療安全
- 16) 部位ごとのセットアップエラーに関する講義
- 17) IGRT におけるレジストレーションのテクニック
- 18) 治療計画の手法
- 19) トモセラピー
- 20) 放射化物の取り扱い